

〔引用文献〕

- [1] アジア経済研究所『日印綿業交渉史』アジア経済研究シリーズ3, アジア経済研究所, 1960年。
- [2] アジア経済研究所『インドの経営代理制度』調査研究報告双書第5集, アジア経済研究所, 1960年。
- [3] 荒松雄「いわゆる『南方史』」(歴史学研究会編『歴史学の成果と課題』岩波書店, 1950年)。
- [4] 荒松雄「アジアの認識とアジア研究」(『世界』1961年12月, 185~192ページ)。
- [5] 石井一郎「ハイデラーバードのジャーギールダリー制——前近代的土地保有とその廃棄——」(I)(II) (『アジア経済』第10巻第4号, 1969年4月, 46~59ページ; 第10巻第8号, 1969年8月, 57~65ページ)。
- [6] 石井一郎『マイソール近代産業化の背景』アジア経済研究所所内資料(調査研究部52-5) 1969年。
- [7] 石井一郎『バローダにおける近代的企業の成立と展開』アジア経済研究所所内資料(調査研究部53-4) 1969年。
- [8] 石井一郎「ハイデラーバード藩王国における大企業の勃興(1), ハイデラーバード建設会社の設立と運営」(I)(II) (『アジア経済』第21巻第9号, 1980年9月, 2~15ページ; 第21巻第10号, 1980年10月, 87~99ページ)。
- [9] 石井一郎「ハイデラーバード藩王国における大企業の勃興(2), 『ニザム製糖』と『スィルプル製紙』の設立」(I)(II) (『アジア経済』第21巻第11号, 1980年11月, 24~37ページ; 第21巻第12号, 1980年12月, 20~30ページ)。
- [10] 石井一郎『インド近代企業の生成——グワーリヤルの事例——』研究双書306, アジア経済研究所, 1982年。
- [11] 石上悦朗「インド国営鉄鋼業の発展とその特質」([59] 所収, 第7章, 291~314ページ)。
- [12] 石上悦朗「インド工業化と公営部門に関する覚書——インドにおける研究動向を中心に——」(『福岡大学商学論叢』第29巻第2・3号, 1984年11月, 1~24ページ)。
- [13] 石上悦朗「公企業」([23] 所収, 58~75ページ)。
- [14] 石川滋「中国とインドの経済成長比較」(『経済研究』第11巻第2号, 1960年4月, 160~175ページ, のち『中国における資本蓄積機構』岩波書店, 1960年, 第6章に収録)。

- [15] 石川滋「マハラノビス模型の前と後——インド経済管見——」(『アジア経済』第4巻第2号, 1963年2月, 16~27ページ)。
- [16] Ishikawa, Shigeru, *Economic Development in Asian Perspective*, Economic Research Series No. 8, Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, 1967.
- [17] 伊藤正二『ビルラ財閥論』アジア経済研究所所内資料(調査研究部43-47) 1969年。
- [18] 伊藤正二「インドの第4次5カ年計画について」(1)(2)(『アジア経済』第10巻第9号, 1969年9月, 103~110ページ; 第11巻第3号, 1970年3月, 125~135ページ)。
- [19] 伊藤正二「独立後の独占資本の発展と経済的従属」([86]所収, 99~151ページ)。
- [20] 伊藤正二「1930年代インドにおける工業化について」(山田秀雄編『植民地経済史の諸問題』研究参考資料210, アジア経済研究所, 1973年, 191~224ページ)。
- [21] 伊藤正二「インドのある大企業の株主構成——財閥支配のメカニズムの一検討——」(『アジア経済』第15巻第10号, 1974年10月, 84~90ページ)。
- [22] 伊藤正二「インドにおける大財閥系投資会社の持株会社の本質について」(『アジア研究』第24巻第2号, 1977年7月, 1~40ページ)。
- [23] 伊藤正二編『インドの工業化 岐路に立つハイコスト経済』アジア工業化シリーズ6, アジア経済研究所, 1988年。
- [24] 伊藤正二・石井一郎「公共部門と民間部門」([119]所収, 159~191ページ)。
- [25] 井上恭子「ネパール」(『日本における発展途上地域研究1978~85』『アジア経済』第27巻第9・10号, 1986年10月, 234~236ページ)。
- [26] 井上恭子「1970年代のカルナータカ州政治——インディラ・ガンディー時代への試み——」(佐藤宏編『南アジア現代史と国民統合』研究双書366, アジア経済研究所, 1988年, 171~207ページ)。
- [27] 井村哲郎「インド関係邦文文献目録——1945年以前刊行——」(長崎暢子編『南アジアの民族運動と日本』研究双書288, アジア経済研究所, 1980年, 190~229ページ)。
- [28] 「インド研究文献目録」(『世界経済』1960年8月)。
- [29] 絵所秀紀「[紹介] S.L. Shetty, Structural Retrogression in the Indian Economy since Mid-Sixties」(『経済志林』第48巻第2号, 1980年6月, 55~69ページ)。
- [30] 絵所秀紀「インド海外投資の若干の特質——韓国・台湾との比較において——」(I)(II)(『アジア経済』第26巻第4号, 1985年4月, 28~58ページ; 第26巻第

- 5号, 1985年5月, 49~69ページ)。
- [31] 絵所秀紀「指定商業銀行統計からみた州レベルでのインド金融の動向」(『アジア経済』第28巻第1号, 1987年1月, 77~97ページ)。
- [32] 絵所秀紀「インド『工業停滞論争』に関する若干の考察」(『アジア経済』第28巻第11号, 1987年11月, 42~58ページ)。
- [33] 絵所秀紀「(書評) バラスプラマニヤム, V.N. (古賀正則監訳, 長谷安朗・松井和久・山崎幸治訳), 『インド経済概論 途上国開発戦略の再検討』東京大学出版会, 1988年」(『アジア研究』第35巻第2号, 1989年2月, 123~130ページ)。
- [34] 絵所秀紀「特集 体制変革下のアジア社会主義 インド——工業停滞論争と経済自由化体制への転換——」(『アジア研究』第35巻第3号, 1989年3月, 89~109ページ)。
- [35] 応地利明「インド・パンジャブ平原における農村の展開と『緑の革命』——アムリッツァー県ガッガルバナ村を事例として——」(石田寛編『インド・パンジャブの動態地誌的研究』広島大学総合地誌研究資料室, 1975年, 13~67ページ)。
- [36] 大内穂「(資料) インドのパッケージ地区における土地保有条件の研究」(『アジア経済』第9巻第2号, 1968年2月, 49~74ページ)。
- [37] 大内穂「インド政府内務省報告(一九六九年十二月)にみるインドの農業問題」(松井透編『インド土地制度史研究』東京大学出版会, 1972年, 295~366ページ)。
- [38] 大内穂「インド農村内対立激化の背景——新農業戦略との関連を中心として——」([117] 所収, 43~138ページ)。
- [39] 大内穂「土地改革の概要」([119] 所収, 199~224ページ)。
- [40] 大阪市立大学経済研究所『インド経済の諸問題——自立化の基盤とその限界——』日本評論新社, 1954年。
- [41] 大阪市立大学経済研究所『アジアにおける農業構造の変革過程』日本評論社, 1960年。
- [42] 大阪市立大学経済研究所『アジアにおける国家資本主義の研究 I』日本評論社, 1964年。
- [43] 大阪市立大学経済研究所『アジアにおける国家資本主義の研究 II』日本評論社, 1966年。
- [44] 大阪市立大学経済研究所, 尾崎彦朔編『第三世界と国家資本主義』東京大学出版会, 1980年。
- [45] 大類純「ガンディー研究文献目録——附年譜——」(『思想』394, 1957年4月, 77~92ページ)。
- [46] 岡倉古志郎「インド民族資本の基本的性格」(総合インド研究室編『インドの資源と工業』1943年, 3~36ページ)。

- [47] 尾崎彦朔「大阪市立大学(経済研究所)におけるインド研究を回顧して——笹倉貞一郎氏のことなど——」(『季刊経済研究』第5巻第3号, 1982年12月, 76~88ページ)。
- [48] 長田満江「バングラデシュ独立のパキスタン経済に及ぼす影響」アジア経済研究所動向分析資料, 1972年。
- [49] 長田満江「バングラデシュ農村社会変動とジア政権」(『アジア・トレンド』1978年夏号, 77~92ページ)。
- [50] 長田満江「バングラデシュの民活政策」(木村陸男ほか『中国の「経済改革」とアジア諸国の「民活」政策』JRPシリーズ76, アジア経済研究所, 1989年, 177~202ページ)。
- [51] 押川文子「出稼ぎ型労働移動と村の変化——インド・ビハール州の一事例——」(『アジア経済』第26巻第1号, 1985年1月, 49~71ページ)。
- [52] 押川文子「インドにおける家計支出の変化」(『アジア経済』第28巻第3号, 1987年3月, 39~55ページ)。
- [53] 押川文子「インドにおける穀類需給と穀類支出——1960年代末~70年代末——」(『アジア経済』第28巻第11号, 1987年11月, 59~74ページ)。
- [54] 片野彦二「インドにおける経済計画の理論」研究参考資料109, アジア経済研究所, 1966年。
- [55] 片野彦二「インド第4次5カ年計画について——Manne-Rudraのプラン・モデルを基礎として——」(『アジア経済』第9巻第2号, 1968年2月, 15~28ページ)。
- [56] 片野彦二「援助必要額の推計——パキスタンの事例——」研究参考資料178, アジア経済研究所, 1971年。
- [57] 小池賢治「経営代理制度論」研究参考資料278, アジア経済研究所, 1979年。
- [58] 小池賢治「インドの公企業——その現状と問題点——」([59]所収, 221~260ページ)。
- [59] 小池賢治編『アジアの公企業 官営ビッグ・ビジネスのパフォーマンス』研究参考資料304, アジア経済研究所, 1982年。
- [60] 古賀正則「農業の資本主義的発展の可能性」([42]所収, 41~122ページ)。
- [61] 古賀正則「インド農業の新しい局面——いわゆる「緑の革命」をめぐる——」(『アジア経済』第11巻第6号, 1970年6月, 76~96ページ; 第11巻第7号, 1970年7月, 72~84ページ)。
- [62] 古賀正則「インドの農業投資と農業技術」(『経済学雑誌』〔大阪市立大学経済研究会〕第63巻第6号, 1970年12月, 14~54ページ)。
- [63] 古賀正則「インドの農業労働者」([118]所収, 107~218ページ)。
- [64] 小島眞「バングラデシュの産業国有化政策」(原覺天編『アジア経済の発展構造』勁草書房, 1977年, 263~282ページ)。

- [65] 小島眞「インド工業化の停滞とブラジル・モデル」(『アジア研究』第33巻第1号, 1986年4月, 1~40ページ)。
- [66] 坂本徳松「インド農村社会近代化の過程——南部インドのクルグおよびマラバルを中心に——」(『農業総合研究』第9巻第2号, 1955年4月, 253~304ページ)。
- [67] 佐藤宏「インド・西ベンガル州における統一戦線と農民運動(1967年2月~1970年3月)に関する資料集」(I)(II)(『アジア経済』第13巻第8号, 1972年8月, 59~75ページ; 第13巻第9号, 1972年9月, 73~91ページ)。
- [68] 佐藤宏「インド・西ベンガル州『左翼戦線』政権の農村・農業政策」(『アジア経済』第21巻第1号, 1980年1月, 2~19ページ)。
- [69] 佐藤宏「インドにおける労働力移動の諸類型」(『アジア経済』第25巻第3号, 1984年3月, 25~46ページ)。
- [70] 佐藤宏「インド財政における中央・州関係——財政移転の分析1972~84——」(I)(II)(『アジア経済』第29巻第5号, 1988年5月, 2~20ページ; 第29巻第6号, 1988年6月, 51~67ページ)。
- [71] 史学会編『日本歴史学会の回顧と展望 18 南・東南アジア 1945~85』山川出版社, 1988年。
- [72] 島恭彦『東洋社会と西欧思想』生活社, 1941年(「島恭彦著作集」6『東洋社会編』所収, 有斐閣, 1983年)。
- [73] 清水学「植民地下のインド鉄鋼業」(『アジア経済』第11巻第10号, 1970年10月, 65~98ページ)。
- [74] 清水学「独立後のインド資本主義に関する若干の覚え書」([118]所収, 33~60ページ)。
- [75] 下山瑛二・佐藤宏『インドの産業統制と産業許可制度』経済協力シリーズ(法律)129, アジア経済研究所, 1986年。
- [76] 鈴木よ志子「インド関係邦文献目録——1960—1973——」(『アジア経済資料月報』第16巻第8号, 1974年8月, 1~48ページ)。
- [77] 鈴木よ志子「南アジア関係邦文献目録——1974—1984——」(『アジア経済資料月報』第28巻第2号, 1986年2月, 65~134ページ)。
- [78] 多田博一「インド, ウッタル・プラデシ州のザミンダール制廃止法の立法過程」(『アジア経済』第10巻第11号, 1969年11月, 43~60ページ; 第11巻第5号, 1970年5月, 28~48ページ)。
- [79] 多田博一「インド農民層分解論の問題点」(『アジア経済』第11巻第11号, 1970年11月, 79~92ページ)。
- [80] 多田博一「イギリス東インド会社による北インド灌漑水路修理工事——英国工兵将校の修業時代——」(『アジア経済』第25巻第5・6号, 1984年6月, 223~239ページ)。

- [81] ダット, パーム (大形孝平訳)『現代インド』岩波書店, 1956年。
- [82] 長崎暢子「大川周明の初期インド研究——日印関係の側面——」(『歴史と文化XII』東京大学教養学部人文科学科紀要第66輯, 1978年3月, 117~150ページ)。
- [83] 中村尚司「スリランカの貯水池灌漑と農村社会」(玉城哲編『灌漑農村社会の諸形態』研究双書280, アジア経済研究所, 1979年, 123~149ページ)。
- [84] 中村尚司『灌漑農業の史的考察 スリランカ水利研究序説』論創社, 1988年。
- [85] 中村平治「インドにおける現代インドの研究——方法論上の諸問題——」(『東洋文化』31, 1961年3月, 41~65ページ)。
- [86] 中村平治編『インド現代史の展望』青木書店, 1972年。
- [87] 西口章雄『発展途上国経済論——インドの国民経済形成と国家資本主義——』世界思想社, 1982年。
- [88] 日本経済研究センター編『世界の中のアジア——アジア経済の展望——』1990年4月。
- [89] ネルー, ジャワハルラル (辻直四郎ほか訳)『インドの発見』(上)(下)岩波書店, 1953年, 1956年。
- [90] 狭間源三「イギリス支配下のインド」([40]所収, 1~106ページ)。
- [91] 羽仁五郎「東洋における資本主義の形成」(『明治維新史研究』岩波書店, 1956年, 1~87ページ)。
- [92] 浜渦哲雄「インドの戦時財政 (1939—1946年)」(『アジア経済』第11巻第10号, 1970年10月, 2~29ページ)。
- [93] 浜口恒夫「独立後の農業問題と土地改革」([86]所収, 199~254ページ)。
- [94] バラスプラマニヤム, V.N. (古賀正則監訳, 長谷安朗・松井和久・山崎幸治訳)『インド経済概論 途上国開発戦略の再検討』東京大学出版会, 1988年。
- [95] 平島成望「土地制度と農業技術の相互作用に関する一試論」(『アジア経済』第12巻第9号, 1971年9月, 56~72ページ)。
- [96] 平島成望「英領インドにおける土地市場の形成と展開」(『アジア経済』第16巻第8号, 1975年8月, 18~35ページ)。
- [97] 平島成望「技術・制度改革と農村経済の変容——パキスタン・パンジャープ4村の事例研究——」(『アジア経済』第17巻第5号, 1976年5月, 2~23ページ)。
- [98] 平島成望「パキスタン・パンジャープ農村における非農家層の経済分析」(『アジア経済』第18巻第6・7号, 1977年7月, 135~154ページ)。
- [99] 平島成望「南アジアの地下水利用」(『アジア研ニュース』1986年10月号, 12~13ページ)。
- [100] Hirashima, S. ed., *Hired Labor in Rural Asia*, Institute of Developing

- Economies, 1977.
- [101] 深沢実「独立後のインド財政」(林利宗編『インドの金融事情』調査研究双書229, アジア経済研究所, 1975年, 55~80ページ)。
- [102] 藤田幸一「灌漑開発と制度的諸問題」(佐藤宏編『バングラデシュ 低開発の政治構造』研究双書393, アジア経済研究所, 1990年, 209~257ページ)。
- [103] 藤田幸一「バングラデシュにおける土地なし貧困層への金融」(『アジア経済』第31巻第6・7号, 1990年7月, 143~160ページ)。
- [104] Fujita, Natsuki and Sudhin K. Mukhopadhyay, *Pattern of Growth Mechanism of South Asian Agriculture—A Case Study of India*, JRP Series 45, Institute of Developing Economies, Tokyo, 1984.
- [105] 本多健吉「インドにおける農業共同化」([41] 所収, 24~95ページ)。
- [106] 松井透「インド植民地化をめぐる問題」(歴史学研究会編『世界史におけるアジア』岩波書店, 1953年, 80~88ページ)。
- [107] 真実一美「小工業」([23] 所収, 78~93ページ)。
- [108] 松本絹代「インドの食糧政策の展開」(山田三郎編『食糧需給の将来と農業政策』研究双書312, アジア経済研究所, 1983年, 99~120ページ)。
- [109] 水野正巳「スリランカのサルボグヤ・シュラマグナ運動にみる農村開発」(山本裕美編『アジアの農業組織と市場』研究双書369, アジア経済研究所, 1988年, 145~168ページ)。
- [110] 安田信之「アジア法の三類型——固有法, 移入法, 発展法——」(『アジア経済』第22巻第10号, 1981年10月, 2~21ページ)。
- [111] 安田信之「イギリス法の移植とその変容——インドの会社法を例として——」(『アジア経済』第23巻第7号, 1982年7月, 48~66ページ)。
- [112] 矢内原忠雄『帝国主義下の印度』大同書院, 1937年(「矢内原忠雄全集」第3巻『植民政策研究I, II』岩波書店, 1963年所収, 459~710ページ)。
- [113] 柳沢悠「インドにおける賃労働の存在形態——労働調査委員会報告にみる——」([118] 所収, 61~106ページ)。
- [114] 柳沢雅一「パキスタンの経済発展」([124] 所収, 151~185ページ)。
- [115] 山口博一「日本におけるアジア, アフリカ, ラテン・アメリカ研究——インド, パキスタン——」(『アジア経済』第10巻第6・7号, 1969年7月, 157~172ページ)。
- [116] 山口博一「インドはどこへゆくか」([119] 所収, 3~33ページ)。
- [117] 山口博一編『現代インドの研究』研究参考資料186, アジア経済研究所, 1972年。
- [118] 山口博一編『インドの経済政策と諸階層』研究参考資料240, アジア経済研究所, 1975年。
- [119] 山口博一編『現代インド政治経済論』研究双書309, アジア経済研究所, 1982

年。

- [120] 山崎幸治「国内市場」([23] 所収, 152~164ページ)。
- [121] 山崎利男「カースト制度の歴史的 연구のために」(『歴史学研究』No262, 1962年2月, 2~6ページ)。
- [122] 山中一郎「パキスタン工業の展開過程」([124] 所収, 313~442ページ)。
- [123] 山中一郎「パキスタンにおける資本の集中と支配」(『アジア経済』第17巻第6号, 1976年6月, 29~44ページ)。
- [124] 山中一郎編『現代パキスタンの研究 1947~1971』研究双書213, アジア経済研究所, 1973年。
- [125] 山中一郎編『南アジア諸国の経済開発計画』研究双書377, アジア経済研究所, 1988年。
- [126] 吉岡昭彦「第一次大戦後におけるインド統治体制の再編成——「インド財政調査委員会報告」(一九二二年)を中心として——」(吉岡昭彦編著『政治権力の史的 analysis』御茶の水書房, 1975年)。
- [127] 渡辺利夫「絶対的貧困の構造」(『アジア経済』第23巻第5号, 1982年5月, 2~25ページ)。